

NextDrive のゲートウェイ「Atto」と椿本チエインの V2X 対応充放電装置「eLINK」の相互接続試験を実施、 IoE プラットフォームを通じた可視化、遠隔制御が可能に ENEX 2022 & DER/Microgrid Japan 2022 にて展示

エネルギー管理とクラウドサービスの開発・提供に取り組む NextDrive 株式会社（東京都港区西麻布 3-19-22／代表取締役社長：石 聖弘／以下「NextDrive」）は、NextDrive が設計・製造・販売するゲートウェイ「Atto」と株式会社椿本チエイン（大阪市北区中之島 3-3-3／代表取締役社長：古世 憲二／以下「椿本チエイン」）が開発・販売する V2X 対応充放電装置「eLINK」の相互接続試験を実施、良好な結果が得られましたのでお知らせいたします。

NextDrive「Atto」ならびに椿本チエイン「eLINK」は、2022 年 1 月 26 日（水）～28 日（金）に東京ビッグサイトで開催の脱炭素・エネルギー総合展「ENEX 2022 & DER/Microgrid Japan 2022」内、神奈川工科大学 スマートハウス研究センター／エコネットコンソーシアム ブース（小間番号 4G-06）にて展示いたします。



■相互接続試験について

今回の接続試験は、同一ローカルエリアに設置された Atto と eLINK をエコネットライト プロトコルを利用して接続しました。

NextDrive が提供するモバイルアプリ「Ecogenie+」を利用した、充電・放電・待機などの遠隔操作を実施。

また、NextDrive がデベロッパー向けに提供している標準 API での遠隔制御を実施しました。

eLINK を NextDrive の IoE プラットフォームと連携させることで、ユーザー向けの可視化や遠隔制御が手軽に実施可能になります。

今後は、NextDrive の持つコネクティビティの優位性を活かし、スマートメーターや太陽光発電設備などとの連携による eLINK 導入施設における、エネルギーマネジメントサービスなどの可能性を検討します。

■eLINK について

「eLINK」は、電気自動車（EV、PHEV）の大容量バッテリーから取り出した電力と、電力網を双方向につなぎ、停電時には非常用電源として、平常時には系統への給電（連系）や EV への充電をスマートに制御できる事業者向け V2X 対応充放電装置です。

バーチャルパワープラント（VPP：仮想発電所）のリソースとしての機能拡充や、充電サービスが提供できる課金装置内蔵モデルのラインアップなど、お客様のニーズにあわせたオプション対応などで、スマートエネルギー社会の実現に貢献します。

注) V2X 対応充放電装置について

「V2X」とは、Vehicle to Everything を意味し、V=電気自動車等と H=住宅 (V2H)、B=ビル (V2B)、G=電力網 (V2G) のすべてをつなぎ、電力の相互供給を行うことができる装置を表します。また、eLINK をはじめとする V2X 対応充放電装置は EVPS (Electric Vehicle Power System) と表記される場合もございます。



eLINK

©V2X 対応充放電装置 eLINK

<https://www.tsubakimoto.jp/other-products/elink/>

■Atto について

洗練されたデザインと安定したネットワーク通信が特徴で、4G LTE の SIM を内蔵し、Wi-Fi が届かない環境下でもネットワーク通信に対応します。センサーなどのデバイスと併用すると、スマートフォンで気軽に電力可視化と家電の遠隔操作などが可能となります。

「エコネットコンソーシアム」が制定し、国際通信プロトコル ECHONET Lite の AIF 認証 (Application InterFace 認証) を取得しています。

優れたデザインに贈られるグッドデザイン賞を受賞しています (2020 年度)。



サイズ：122mm × 122mm × 38.6mm（壁掛けを含む）

電源：AC 100～240V 50/60Hz

無線通信規格：Wi-Fi (802.11 a/b/g/n/ac) / Bluetooth Low Energy (BLE) 4.2 / Wi-SUN (Rohm BP35 C0) / 4G LTE

SIM カード：nano SIM 内蔵

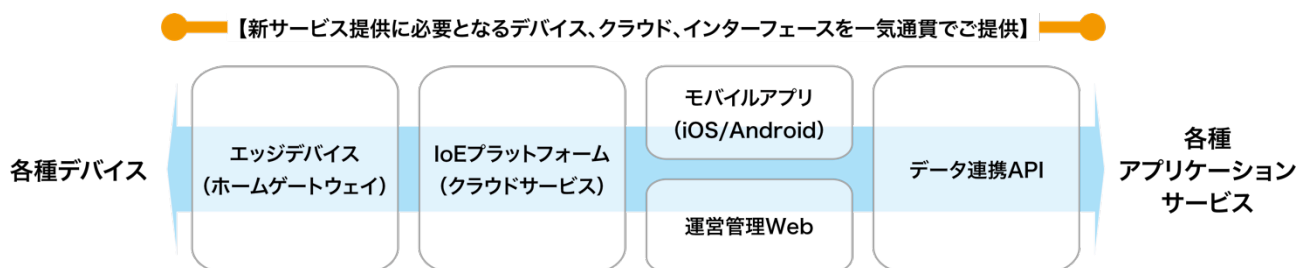
<https://www.nextdrive.io/jp/atto-data-gateway/>

■NextDrive の loE プラットフォームについて

NextDrive の loE プラットフォームは、分散するエネルギー設備のネットワーク化を素早く、手軽に実現します。

様々な通信プロトコルをサポートし、通信の安全性も確保したエンドツーエンドの接続性を PaaS（Platform as a Service）型で提供、大きなリソースを確保することなく、サービスの成長に応じた形で拡張していくことができます。

loE プラットフォームを採用されたお客様は新規サービスの立ち上げ、エネルギーデータを活用した新たな価値創出に集中することが可能です。



■椿本チエインについて

1917 年創業の椿本チエインは、機械部品からそれらを組み合わせたユニット、自動化システムまで、世の中の「動かす」を支えるモノづくり企業です。

チェーン、モーションコントロール、モビリティ、マテハン（マテリアルハンドリング）の4つを主力事業にグローバルに事業を展開。

幅広い分野でお客様に最適なソリューションを提供しています。

公式 Web サイト

<https://www.tsubakimoto.jp/>

■NextDrive について

loE（Internet of Energy：エネルギーとインターネットの融合）、IoT、HEMS を活用したエネルギー管理とクラウドサービスを開発・提供する、エネルギーデータ プラットフォーム企業です。

IoT とソフトウェア・ハードウェア技術を統合し、電力会社をはじめとするエネルギー関連企業にワンストップでエネルギーデータ プラットフォームサービスを提供しています。

公式 Web サイト

<https://www.nextdrive.io/jp/>

■本リリースに関するお問い合わせ

NextDrive 株式会社 マーケティング 大石（おいしい）

電話番号：03-6432-9616

E-mail：contact@nextdrive.io